

食べる機能を引き出す



リードスプーン 新商品のお知らせ

(とらえる・噛んでまとめる・送り込む・飲み込む) を導く

「食べる」を引き出す! リードスプーン 3つのメリット



スプーンの使い方

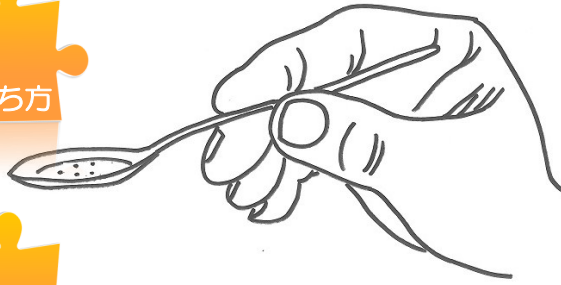
使い方動画見られます→

ラックライブラリー

検索



持ち方



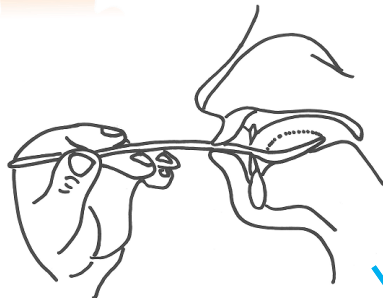
1
ズしない
持ちやすさ

舌の動きを感じられる軽さで持つ



置き方

▶ 座位の場合



舌のくぼみにスプーンの底
押しあてる

▶ リクライニングの場合



上顎にスプーンの先端をふれる

口唇を閉じる



抜き方



2
上唇に凹面の刺激
認知され口唇閉鎖
促す

上唇でスプーンの底をめぐいとる



ワンポイント

嚥下のリズム (ムセにくい嚥下パターン)

えくぼをつくる → 息をとめる → うなずく → 息をはく (ハア~)

3
凸面の刺激が
咀嚼 (モグモグ) 運動
誘発する

監修: 気の里 (豊橋市) 田中靖代



ラックヘルスケア株式会社

東京オフィス

東京都港区芝4-5-11 芝プラザビル2F

TEL 03-5419-8050 担当: 清水

E.H様 看護師 福岡県

スプーンが浅く 引き抜きやすく

介助しやすかったです

軽いので使いやすい

A.N様 生活相談員 愛知県

重さかちょうど良く、介助者は

右さきだが、左手でもスムーズに

介助することが出来た。

C.K様 ケアマネージャー 和歌山県

介助者：1人1人の家族

食事に合わせた(介助者の方)

スプーンの大さき等

emリードスプーン ご利用者の声

現在ご利用中の方から届いた
生の声をご紹介します

T.K様 ナースサポート 千葉県

食事介助の際に、どの位置で角度で

介助したらよいか、などのポイントを示してあげ

大変わかり易かったです。一口分の

大きさがちょうど良く感じました。

上あごはスプーンをかけるように運ぶと、

自然と下あごが上がりくるようになり、

喉が使ってくるに、効果が実感できた

ように思います。

食事で頂くと同時に口腔内の刺激も与える

ことができ、使用させて頂いて下さる

機能も(使った方は)回復してきてるよう

に思います。

K.S様 言語聴覚士 岡山県

介助者は持ちやすく、患者さん先口には

取り込みやすい大きさでした。

スプーン裏の突起は良いアイデアだと

思いました。

K.Y様 看護師 愛媛県

①使用しやすいと評判です。所々店々あり。

②水分がこぼれにくい。

③スプーンの大さきがちょうどよい。

④軽い。